

平成28年度 災害給付状況報告

給付件数及び給付金額の状況（前年比）

	平成28年度						平成27年度		比較増減	
	給付事業		共済事業		合計		件数	金額	件数	金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額				
(1) 傷病見舞金	9	133,694	893	19,056,982	902	19,190,676	854	19,800,518	48	△ 609,842
(2) 障害見舞金	2	3,240,000	6	10,986,000	8	14,226,000	4	25,560,000	4	△ 11,334,000
(3) 香料	0	0	20	2,000,000	20	2,000,000	17	1,700,000	3	300,000
(4) 歯科補綴特別見舞金	0	0	14	640,000	14	640,000	18	920,000	△ 4	△ 280,000
(5) 死亡見舞金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6) 特別給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	3,373,694	933	32,682,982	944	36,056,676	893	47,980,518	51	△ 11,923,842

給付状況について

平成28年度の給付件数944件は、昨年度比6%増で、平成元年に安全振興会が法人化されてから過去最高となっている。ここ4年間過去最高を更新し続けている。

(1) 傷病見舞金

27年度と比較して、給付件数で48件の増、給付額で約61万円の減となっている。

1件当たりの平均給付額は、27年度23,200円に対して28年度は21,300円、約9%縮小している。こまめに請求するようになってきている。

また、新たな請求件数（安全振興会傷病見舞金給付の対象となる災害発生件数）は、28年度は449件で、27年度の455件と比較し、微減となっている。

近年、給付件数が増加している原因は、安全振興会のしおりの発行やホームページの開設など、広報に力を入れたことによって周知が図られたことも要素としてあるが、それだけでは説明できない。件数等の増加傾向は、各県共通の課題となっており、早急に災害を未然に防ぐ対策が望まれる。

(2) 障害見舞金

27年度と比較して、給付件数は4件の増、給付額は約1100万円余の減である。これは、27年度障害等級1級の傷害見舞金（2,262万円）の給付が1件など、等級の高い障害見舞金の給付が発生したことが影響している。今後は件数、見舞金ともに減少していくことが予想される。

(3) 死亡見舞金

28年度は、死亡見舞金の給付実績はない。

(4) 特別給付金

28年度は、特別給付金の給付実績はない。

(5) 各年度平均的に給付のある傷病見舞金、香料、歯科補綴特別見舞金の前年度との比較は、次のとおりである。

給付件数は47件の増、給付金額は3%の減となっている。このことにより、1件当たりの給付金額は27年度25,200円に対して28年度は23,300円で8%の縮小となっている。

	件数	金額
平成28年度	936	21,830,676
平成27年度	889	22,420,518
比較増減	47	△ 589,842